

■出席者

1. 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会

会長	小根山 裕之	東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境コース 教授
副会長	橘 弘志	実践女子大学 生活科学部 生活環境学科 教授
委員	有山 一博	日野市聴覚障害者協会
	曾我 眞二	日野市老人クラブ連合会
	早川 裕子	市民サポートセンター日野
	藤井 恵	公募市民
	藤田 博文	自立生活センター日野
	井上 敏夫	日野市商工会
	松本 茂夫	日野市社会福祉協議会

2. 日野市

宮田 守	まちづくり部長
岡田 正和	企画部長
山下 義之	健康福祉部長

3. 事務局

日野市まちづくり部都市計画課

浅川浩二主幹・大貫里紗主事・川上恭平主事

■次第

1. 開会

2. 審議事項

- (1) 日野市ユニバーサルデザイン推進功労者表彰募集について
- (2) 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画の改訂について
- (3) 第二次日野市バリアフリー特定事業進行管理について

3. 報告事項

- (1) 令和元年度 2 月「まちあるき」の報告
- (2) 移動円滑化の基準に関する条例の制定に関する情報提供
- (3) 今後の予定
 - ①令和 2 年度「心のバリアフリー」職員研修について
 - ②次回協議会について

4. 意見交換

5. 閉会

【配布資料】

資料 1－1	審査事項	日野市ユニバーサルデザイン推進功労者表彰募集・審査について
資料 1－2	募集要領（案）	
資料 1－3	事前エントリーシート（案）	
資料 1－4	応募用紙（案）	
資料 2		日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画の改訂について
資料 3	報告事項	
資料 4	名簿	

■審議・意見交換

1. 開会

2. 審議事項

（1）日野市ユニバーサルデザイン推進功労者表彰募集について

委員： 選定方法について「結果のみ通知」とあるが、再度応募を促すため改善点や要望があれば一言添えてもよいだろう。現状では応募数を増やすのは困難であると思う。

事務局： 公平性を保つため、委員の皆様にご評価いただいた「結果のみ」を通知するものとしている。引き続き応募者数の増加に向けて工夫していきたいと考えている。

委員： 前回の高幡不動尊のように知名度の高い事業者であると、UDの啓発という点で効果的である。

事務局： 受賞者を紹介していくことは UD の啓発に繋がると考えられるので、引き続き啓発活動を工夫し、応募者数の増加につなげていきたいと考えている。

委員： できる限り多くの方の応募に期待する。

事務局： HPや広報ひので応募情報を掲載し、多くの施設に応募用紙をおいてもらうことで、周知に努めていく。

委員： 応募数の増加が期待できるため、募集期間の延長に賛同する。

事務局： 引き続き応募者数の増加に向けて工夫していきたいと考えている。

委員： 今回はコロナ対策のため仕方ないと思う。

<議決>

「日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進功労者表彰募集について」
は承認された。

書面決議 14/14 承認

(2) 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画の改訂について

委員： 今回のコロナ禍がユニバーサルデザインの考え方に影響を及ぼすことが考えられる
ので延期したほうがよいと思う。

事務局： 計画の改定は、今後のコロナ感染の動向を鑑みながら、適切な時期を見定めていく。

委員： 幅広く検討してほしい。

事務局： 今後計画の改定をする際はUD協議会委員や障害者団体、市民の意見を参考にして、
幅広く検討していきたいと考えている。

委員： 現情勢下ではこれも致し方ない措置と考えている。

委員： 今回はコロナ対策のため仕方ないと思う。

<議決>

・「日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画の改訂について」は承認された。

書面決議 14/14 承認

(3) 第二次日野市バリアフリー特定事業進行管理について

委員： 今はコロナ対策を優先し、非常事態宣言が解消後自由にまちあるきがしたいと思う。

委員： 時節柄やむを得ない。感染防止対策を優先すべき。

事務局： 三密を避けた協議会の運営方法などについては、コロナウイルス感染状況を鑑みて適
宜検討する。

委員： 今回はコロナ対策のため仕方ないと思う。

委員： 事務局案に賛成する。

<議決>

「第二次日野市バリアフリー特定事業進行管理について」は承認された。

書面決議 14/14 承認

3. 報告事項

(1) 令和元年度2月「まちあるき」の報告

委員： 日常の状況をチェックしすぐに情報を得ることができるようにしたらよい。

市民が散歩しやすいまちづくりを心がけたいと考えている。

コロナ問題により計画が進行できない時期のため、バリアフリーPRに活用すべきだ。

事務局： 市民の方の意見など、事務局でも情報集めに尽力したいと思う。

計画改定が進められない状況を踏まえ、ユニバーサルデザインやバリアフリーのPRについて事務局で検討したいと思う。

委員： 皆様の意見を実行・推進できたら、バリアフリーの行動がPRにつながると思う。

事務局： 皆様のご意見をまとめ、主管課に報告し検討していく。

委員： 歩道の植え込みで狭い場所を報告

旭が丘6丁目「首都大前」「四中前」より南の歩道幅

違法駐車（大型トラック）が多く、自転車の多くは歩道を通る。対面通行も厳しいので植え込みは不要かと思う。

事務局： 道路の緑化については環境保全等の目的として実施していることもある。頂いたご意見は主管課にお伝えする。

委員： 当日の報告会で出た意見が大体網羅され、きちんとまとめられていると思う。ただ抽象的になりすぎて、意味のつかみにくい箇所がある。

例えば下から2番目の意見には（最後のところ）「貼り付ける方法は手軽で安価だがはがれやすいので、長期的なコストを考え～」と加筆すると分かりやすくなると思う。

事務局： ご教示に感謝します。

今後資料を作成する際に、説明の文章が抽象的になりすぎないように注意して作成する。

委員： よい取組だと思う。

委員： 道路について、経過時間表示機能付き歩行者用信号機の拡大をお願いする。
道路と公園について、日野市バリアフリーマップを作成できないか。

事務局： 信号機についてのご意見は警察署にお伝えする。
バリアフリーマップについては以前から検討しているが、随時更新していくことが課題であると考えている。引き続き検討する。

委員： 条例の確認の上決定

事務局： 各主管課でパブリックコメントを実施し、市民の意見は、取り入れられる範囲で取り入れた上で条例の制定をする。

委員： 条例を制定する理由を報告する必要があると思う。

事務局： 「高齢者、障害者の移動等の円滑化の促進に関する法律」改正に伴い、移動円滑化のために必要な道路の構造に関する条例及び特定公園施設の設置に関する条例について制定するものである。各管理者が主務省令で定める基準を参酌して定めるものとなっているため、日野市においても新しく条例を制定するものである。

委員： 日野市道に関して、車椅子利用者の要望では段差はない方がよいが、視覚障害者の要望では歩道を明確に感じるために段差があった方がよいという反対の意見が出た。以前のまちあるきの中で報告されたような視覚障害者が歩く際に目印になるようなクッション素材を歩道に使うことで段差がなくても気づくことができる、そのように両者が歩み寄ることができる方法もあると思う。
また、東京都内のバリアフリーの公園設備を参考に災害防災だけでなく「誰もが」普段から集える空間としての条例やガイドラインを定めてほしい。
UD推進条例の考え方や障害者の声を取り入れて各主管課で検討してほしい。また、策定の途中経過も報告して、市全体で良いものを作っていきたい。

事務局： この条例については、道路や公園の構造（数値的な基準等）について定めるものであり、いただいたご意見の内容を反映させることは難しいかもしれないが、ユニバーサルデザイン推進計画の改定の際などに参考とさせていただきたい。
また条例を制定するにあたって、パブリックコメントの実施により、市民の意見は取り入れる範囲で取り入れた上で制定するとの報告を受けている。

委員： 承知した。

委員： 確認した。

(3) 今後の予定

委員： 心のバリアフリー研修は ZOOM（ズーム） でできないか。

事務局： 今年度の実施は難しいかもしれないが、今後はコロナウイルスと共生していくことになる可能性があるため、様々な状況を考え事務局にて検討させていただく。

委員： コロナの問題で計画ができないと思う。
バリアフリー P R に活用できる事業をするとよい。

事務局： 当面はユニバーサルデザイン推進功労者表彰募集など、ユニバーサルデザインとバリアフリーを PR していきたいと考えている。

委員： 了解した。

委員： 進行どおりで良いと思う。

委員： 承知した。

委員： 了解した。

委員： 了解した。

4. 意見交換

5. 閉会